

# 希望の種

ふくおか  
NPOファイル

②

「ニコちゃんの会」は1992年に福岡市の市民有志がボランティアで始め、地道に続けた活動を事業化した認定NPO法人です。重い病気や障害がある方に対する訪問介護や外出移動支援などの福祉サービスを中心に、芸術活動やコミュニケーションによる表現活動も行っています。

その一つの例が、「すっこい演劇アートプロジェクト」。身体にさまざまな障害のある人たちが、演劇のプロによる厳しいオーディションと指導を受け、今年6月に福岡市で公演しました。還暦を過ぎた

## ニコちゃんの会

事務所＝福岡市城南区▽連絡先＝092(863)5903、  
info@nicochan.jp

女性や障害のある方、健常者など、年齢もさまざまな10人は、声の出ない方と一緒に何が俳優として舞台上に立ち、何度もカラオケに「遊びに行っくして亡くなったことが活動

# 違い超え同じ舞台に

くの来場者が鑑賞しました。

「なぜ、わざわざ演劇を？」と思う方もいるかもしれませぬ。けれども、私たちが演劇やピアノ、絵画やスポーツなどの趣味を始める時、誰かから理由の説明を求められても、深い理由などないことが多いのではないだろうか。

同会は「重い病気や障害のある人、家族、医療、介護を提供する人なども含めたその周りにいるあらゆる人が互いに『ここを豊にすこすこと』、この思いが原動力です」と説明しています。そのためには、非日常の体験が必要であると



障害のある人も健常者も同じ舞台に立った「すっこい演劇アートプロジェクト」

の契機となったということ、発足当初から中心メンバーの一人です。

支援の枠を超え、対等で自然な関係を育んでいく同会の活動には、一人一人異なる「できること」「できないこと」に対する配慮も必要で、そのバランスは簡単ではありません。

しかし、福祉分野に限らず、人は日常的に性別や価値観、生活習慣など、他者との違いを感じながら生きています。多様性や持続可能性が求められる現代社会の中で、人との違いを互いに受け入れ、ともに生きていくための大きなヒントが、同会の活動の中にあるのではないのでしょうか。

(仮認定NPO法人「アカツキ」代表理事・永田賢介)

原則毎週月曜掲載